

令和元年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
 (コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

令和元年 9 月期連結業績の前年同期実績からの差異に関するお知らせ

当社は、連結業績予想の公表を差し控えさせていただいておりますが、令和元年 9 月期（平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和元年 9 月期 業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前年同期実績 (A) (平成 30 年 9 月期)	9,995 百万円	1,832 百万円	1,478 百万円	74 百万円	2.09 円
今回発表業績 (B) (令和元年 9 月期)	9,318 百万円	598 百万円	212 百万円	△448 百万円	△12.53 円
増減額 (B-A)	△676 百万円	△1,233 百万円	△1,266 百万円	△522 百万円	—
増減率 (%)	△6.8%	△67.3%	△85.6%	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、タイ王国やカンボジア王国においてこれまでビジネスモデルの転換、営業貸付金の質の向上を目指し、戦略的に構造改革を進めていることから一時的な減少となったことに起因し、前年同期実績より 676 百万円減少し 9,318 百万円（対前年同期実績 6.8%減少）となっております。

営業利益につきましては、**Digital Finance** 事業において、前述の構造改革を進めた結果、利益改善が進み事業としての利益は拡大しましたが、現在継続中の裁判費用が大きな足かせとなっていること等から、販売費及び一般管理費が 440 百万円増加（対前年同期実績 6.7%増加）したことに伴い、1,233 百万円減少し 598 百万円（対前年同期実績 67.3%減少）となっております。

経常利益につきましては、上記の要因の他、持分法適用関連会社であるスリランカ民主社会主義共和国の **Commercial Credit and Finance PLC** における会計的な調整を行ったこと等により 1,266 百万円減少し 212 百万円（対前年同期実績 85.6%減少）となっております。

親会社株主に帰属する当期利益につきましては、上記の要因に加え、法人税等合計が 151 百万円増加したことから、522 百万円減少し△448 百万円（前年同期は 74 百万円の純利益）となっております。

以 上